予算特別委員会 ～令和7年度一般会計予算案に対する討論要旨～

予算特別委員会では、議長を除く34人の議員が、令和7年度予算案について7日間にわたり慎重に審査しました。

インターネット議会中継の「令和7年予算特別委員会」から、審査の様子が動画で視聴できます。
「令和7年第1回定例会」の「3月21日　本会議」からは、委員長報告と討論、議決の動画が視聴できます。

▶インターネット議会中継

●2月21日　委員長・副委員長の互選
西村ちほ委員長、斉藤優子副委員長が選出されました。

●3月7日～17日　議案審査
会計ごとに質疑を行い、審査しました。(　)は議案番号
一般会計(第19号)／国民健康保険特別会計(第20号)／後期高齢者医療特別会計(第21号)／介護保険特別会計(第22号)

●3月21日　委員長報告、討論、議決　(議決結果は7面)
本会議で西村ちほ委員長が予算特別委員会の審査経過と結果を報告し、各会派等の代表10人が、討論を行いました。その後、採決が行われ、令和7年度当初予算が可決・成立しました。

斉藤優子　副委員長　　西村ちほ　委員長

反対 区民センター等建替は民間コスト増で中止 開発から暮らし優先に

日本共産党目黒区議団　芋川 ゆうき　議員

食品やお米、物価、社会保険料の値上げが続き、なぜこんなに区民の生活が大変になっているのか。それは、政治の責任である。自治体の役割は区民の福祉を増進すること。しかし、新年度予算は大規模再開発を優先している。自由が丘駅前再開発(今後5年で221億円)や中目黒の再開発(37億8千万円余)に多額の税金を投じる予定である。一方、区民から声が寄せられている、学用品無償化や単身・若者向け家賃補助、低所得世帯へのエアコン補助、高齢者の補聴器購入費助成の拡充などは、先進区では行っているのに、目黒区ではやらない。また、区有施設会議室などの使用料の値上げにも反対する。

賛成 区民に目黒の未来像を示しバックキャスティングで必要な施策を実現せよ

自由民主党目黒区議団・区民の会　鈴木 まさし　議員

予算編成の位置付けを「目黒未来予算」としているが、区長の未来像が不明確である。明確な未来像を示し、バックキャスティングで区民や事業者にとって必要な取り組みに尽力すること。我が会派は、能登半島地震の教訓から防火対策と在宅避難、動物愛護基金を活用したペット防災、2025年問題の対策として介護基盤整備と健康長寿社会の実現、子育て家庭の孤立防止、プレミアム付き商品券事業の再開、教員が児童・生徒と向き合う時間をつくるための働き方改革推進を強く要望した。これらを実現するため区職員のモチベーションとエンゲージメント向上に取り組むことを求め賛成する。

反対 目黒区から「積極財政」で「失われた30年」を取り戻そう！

こいで まあり　議員

令和7年度一般会計予算は過去最高、税収も6.3%の増加見込み。国は税金を取り過ぎだ。財務省デモの主張のように「緊縮財政」が日本経済停滞の主因。今こそ「積極財政」に転換すべき。目黒区美術館・区民センター再開発は区民との対話で実現した都立大跡地「めぐろ区民キャンパス」の成功に学べ。

賛成 政治的決断を待つばかり。区長の覚悟を問う

めぐろの未来をつくる会　かいでん 和弘　議員

本予算案には、ボトムアップで築き上げられた重要な事業も多く、賛成する。

特に、めぐろ子ども・若者会議をはじめとした「子ども・若者社会参画プロジェクト」は、全庁を挙げて推進していただきたい。区は「子ども条例」を全国に先駆けて制定した矜持を持って、「子ども・若者政策は目黒区が一番」と言われる施策展開を期待する。

一方で、30年前から同じ課題が指摘されてきたコミュニティ施策など、積年の課題も多い。その解決に必要なのは、区長の“覚悟”と“政治的決断”である。区長自身が“総決算”と語る6期目残りの2年間で、山積みの課題を文字通り総決算していただきたい。

賛成 必要な課題解決のために、今、取り得るべき最善を尽くせ！

公明党目黒区議団　はま よう子　議員

一般会計予算額は過去最大を更新した。人口動態は生産年齢人口が減少し、高齢人口の比率が上昇。令和15年度には区債残高が基金残高を上回ることが予測されている。区民に丁寧な説明を行い、一層の理解を深め、意識変革を促していくことを要望する。組織見直しによる「子ども若者部」の発足と、新しい子ども総合計画のスタートに当たり、我が会派が予算要望した内容がほぼ盛り込まれたことは評価する。今後、この取り組みをこれからの区の目玉政策として輝かせ、育てていくことを切に願う。必要な課題解決のために今取り得るべき最善を尽くしていくことを要望し、予算案に賛成する。

賛成 区民の未来に繋がる施策を

立憲民主・目黒フォーラム　細貝 悠　議員

本予算の位置付けは、本区が抱える中長期的な課題解決に、真正面から取り組む姿勢が表れていると考える。

我が会派からも、5年10年、さらにはその先の区を見据え、多角的な視点から質疑をし、議論を重ねた。

しかし、区長の長期にわたる区政運営の中で、行政体制の硬直化等の負の側面も生じてきたことは否めない。

区長の残された任期は、「新たな目黒区の始まり」とするための期間としていただきたい。区民の未来につながる施策を、言葉だけでなく、具体的な行動で示していただくことを強く求めて、我が会派の賛成討論とする。

賛成 効率的で効果的な行財政運営を！

日本維新の会目黒区議団　上田 あや　議員

令和15年度に区債が基金を上回ると予測されている。新たなバックキャスティングの導入など、財政ルールの見直しを要望する。その他、①防災②健康推進③若者の区政参画④DV対策⑤高齢者福祉⑥子育て支援⑦教育について改善要望を行った。答弁通りの予算執行を期待して、本予算案に賛成する。

賛成 立つ鳥跡を濁さず政治生命を燃やし尽くす 情熱をもった区政運営を！

上田 みのり　議員

区長任期残り2年で区有施設はもちろん、地域コミュニティ等の山積したままの課題解決に取り組み、政治生命を燃やし尽くすほどの情熱をもって区政運営に取り組み、青木区政で築いたものが未来へ負の遺産を残すことにならない状況で旅立つこと「立つ鳥、跡を濁さず」を行うことを強く要望する。

賛成 将来の目黒区へ：改革すべき5つの課題

白川 愛　議員

区の課題は、①国や都との連携の明確化、②予算編成の柔軟性不足、③施策の評価基準の不明確さ、④財政調整機能の強化、⑤区民への説明責任の不足。これらを改善し、補助金依存を排し、効果的な施策選択・情報公開を進めることで、透明性と柔軟性のある行政運営に努めることを要望する。

賛成 大事なことは区民が決める！ 区民との合意形成には対話が必要だ

増茂 しのぶ　議員

区民参加型予算など、意見を反映する仕組みづくりを進めよ。障がいのあるなしにかかわらず共に学び、子ども時代から多様な仲間と接し、個性を認め合う社会に。危険なブロック塀の除却、樹木の整備で安全に歩けるまちづくりを進め、施設の整備、建替えは長寿命化で限られた資源の有効活用をせよ。

3月10日、11日

犠牲になった方々へ黙とうをささげました

3月10日　東京都平和の日(東京空襲)
3月11日　東日本大震災